

# 2016年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2016年11月26日(土)、京都大学稲盛財団記念館において2016年度日本マレーシア学会(JAMS)の会員総会が行われた。

## 【議長選出】

西芳実会員が議長に選出された。

## 【報告・審議事項】

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われるとともに、各委員による提案について審議が行われた。

### 1. 運営委員長

篠崎香織運営委員長より、会則第6条6に基づき、金子奈央会員を2016年11月26、27日の研究大会および会員総会における会計業務(会費の徴収および研究大会にかかる費用の徴収)の代行者に任命したことが報告された。

### 2. 事務局

#### 総務

山本博之委員より、JAMSが参加している学会等の連合体に関して以下の報告があった。

#### (1)地域研究コンソーシアム(JCAS)

JAMSは幹事組織としてJCASの運営を担っており、金子芳樹会長がJCASの理事をつとめている。JCASは公募プログラム(次世代支援、学会連携など)や顕彰(地域研究コンソーシアム賞)などを行っている。今年度の年次集会は2016年11月5日に京都大学稲盛財団記念館で行われた。各種公募を含むJCASの活動は、主要なものは事務局から案内するが、会員にはJCASホームページまたはJCASメールマガジンを参照していただきたい。

#### (2)地域研究学会連絡協議会(JCASA)

JCASAの加盟学会が支払う会費は2年間で5000円。主な活動は総会のみで、一般に公開されたイベントは行われていない。今年度の総会は2016年12月17日に開催予定。

#### 会計

光成歩委員より配布資料をもとに2015年度の会計中間報告が行われた(この項、篠崎運営委員長代読)。

#### 【審議事項1】2015年度の会計報告について

光成委員より配布資料に基づいて2015年度の会計報告がなされ、宮崎恒二監査より監査結果が報告され、いずれも承認された。

#### 【審議事項2】2017年度の予算案について

光成委員より配布資料にもとづき2017年度予算案が提示され、承認された。

#### 会員情報

光成歩委員より以下の報告がなされた(篠崎運営委員長代読)。

#### (1)会員数

2016年10月20日の時点で会員数は202名。前年度の会員総会時から1名増。

#### (2)権利の停止

38名が権利の停止の対象者となっている。

#### (3)会員名簿

2016年12月後半に会員名簿を発行予定。

#### ウェブサイト

山本博之委員より今年度の活動について以下の2件の報告がなされた。

(1)『The Daily NNA マレーシア版』に毎月掲載されているコラム記事「知識探訪」の記事再録をはじめ、ウェブサイトを通じて学会の活動を広報している。

(2) 今年度より一部項目（研究大会、会誌、ディスカッションペーパー）について英語ページを作成した。今後も英語ページおよび英語コンテンツを増やしていきたい。

### 3. 学会誌編集委員会

祖田編集委員長より以下の3件の報告がなされた。

(1)金子前編集委員長の体制のもと、会誌『マレーシア研究』の第5号を2016年6月30日付けで発行し、会員に郵送で配布した。エッセイ（知識探訪）の掲載漏れがあったため、メーリングリストで会員および執筆者への説明と謝罪が行われた。これらのエッセイについては第6号にまとめて掲載予定。

(2)第6号から祖田委員を編集委員長とする新たな編集体制が始動した。第6号は2017年3月の発行を目指して作業が進められている。受理された原稿は会誌の発行を待たずに随時ウェブサイトで公開する。

### 4. 地区担当

#### 関東地区

福島康博委員より以下の2件の報告がなされた。

(1)関東地区例会を立教大学池袋キャンパスで開催している。2016年度は9回開催し、年度内にさらに2回開催予定。会員・非会員を問わず広く発表・コメントをお願いし、会員の獲得、大会への参加、大会での発表を促している。

(2)関東におけるマレーシア関係者の情報交換の場になりつつあると感じているが、会誌の投稿につなげることが今後の課題。

#### 関西地区

多和田裕司委員より以下の2件の報告がなされた（篠崎運営委員長代読）。

(1)2016年12月10日に関西学院大学の東和重氏をお招きし、「比較文学研究者の見たマレ

ーシア華語文学 出会いと関心の所在」というテーマの研究会を予定している。

(2)関西地区の研究会で発表希望者があれば、会場その他の準備は運営委員でおこなうので、遠慮なくお申し出頂きたい。日取りなどは希望者と相談の上で適宜決定したい。

### 5. 研究大会

山本博之委員より、2016年度研究大会の開催について以下の件の報告がなされた。

(1)2016年11月26日（土）、27日（日）に京都大学稲盛財団記念館で今年度の研究大会を実施した。当初は2016年12月10日、11日の開催予定だったが、会場校の都合により日程を11月26日、27日に変更して開催することとなった。

(2)大会1日目は個別研究報告とポスター・セッションとし、発表者を募集した。個別研究報告では4件（英語による発表・質疑応答を含む）、ポスター・セッションでは1件を採択した。大会2日目ではシンポジウム「サラワクから見るマレーシア」を企画した。

【審議事項3】2017年度の研究大会について

篠崎運営委員長より、2017年度の研究大会は獨協大学で行うこと、日程は2017年10月または11月を予定し、会場校の都合をふまえて2017年4月以降の早い時期に確定すること、自由研究発表と企画シンポジウムを行い、自由研究発表の報告者は2017年度に入ってから募集することが提案され、承認された。

### 6. 連携研究会

篠崎運営委員長より、連携研究会はJAMS会員が中心になって組織する研究活動であり、運営方針・予算に関してJAMSから独立して行うものであること、連携研究会の登録は1年ごととすること、また、過去1年間に活動が行われていない連携研究会は特に申し入れがある場合にのみ連携研究会を継続することなどが

確認された上で、現在登録されている連携研究会の活動について以下のように報告があった。

(1)クアラルンプール地区研究会

特に報告する活動は行っていない。

(2)「ジャウィ文献と社会」研究会（坪井）

坪井祐司委員より以下の2件について報告がなされた。①2016年2月22日にマレーシアの Dewan Bahasa dan Pustaka (DBP) との協力により、DBPにて公開ワークショップ「Toward social history of Malay Muslims: Islamic principles and local practices from the perspective of Majalah Qalam (1951-1969)」を開催した。②2017年2月18日にシンガポールの Malay Heritage Centre (MHC) との協力により、MHCにて公開セミナー「Age of Qalam」を開催する。

(3)マレーシア映画文化研究会（篠崎）

篠崎運営委員長より以下の報告がなされた。2016年3月11日に大阪アジア映画祭との共催で、国立国際美術館で公開シンポジウム「“手に職”系女子とフォーエバー・ポギー」を実施した。

(4)パラダイム研究会（山本）

山本博之委員より以下の活動報告がなされ

た。マレーシア社会が大きな変動を向開けている状況を受けてマレーシア研究のパラダイムの見直しが必要となっている。分野横断的にマレーシア研究の論文を読む研究会を実施するための予備的な調査として、マハティール期以降に刊行されたマレーシアに関連する日本語の学術論文を収集し、全体の傾向を把握し、その結果の一部を JAMS 研究大会で個別報告として発表した。

## 7. 社会連携

篠崎運営委員長より、以下の2件について報告がなされた。

(1)マレーシアで発行されている邦字紙『NNA マレーシア』に本学会の会員がコラム「知識探訪」を毎月掲載している。執筆者は会員の自薦による。積極的な応募を期待する。

(2)賛助会員であるマレーシア国立博物館日本語ボランティアガイド・グループより、JAMS に対して同グループを対象としたマレーシア事情研修の講師を紹介するよう依頼があり、会員メーリングリストにて募集を行った。

以上